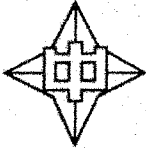


令和5年度さいたま市立与野南中学校 学校だより

み な み か ぜ



南 風

第 1 号

令和5年4月10日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

〈学校教育目標〉 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

令和5年度のスタートです

校長 吉原 誠 士

1年生の保護者の皆様、入学おめでとうございます。

2年生、3年生の保護者の皆様、進級おめでとうございます。

与野南中学校ではこれからの学校生活を実り多きものにすべく、教育活動に取り組みます。どうかよろしく願いたします

今年で40回目の年度始めを迎えました。初任の頃から必ず「今日からスタートする1年間が平穏でありますように」と思い続けてきました。4月3日の月曜日に職員室で、そして子どもたちや保護者の方々とのファーストコンタクトとなる始業式、入学式での思いです。

2年生と3年生はクラス替えでした。1年生は複数の小学校からの子どもたちが出会う新しい集団のお披露目になりました。多くの人たちが私と同様に穏やかな毎日を願うことでしょう。そこでお願いするのは、互いに気を遣いながら尊重し合う「多文化共生」という考えを大事にすることです。一人ひとりの振舞い方＝文化が異なることを認めた上で新生活への決意を新たにしてください。また、それまでの諸々の事情を一旦リセットして、新たなスタートを切ることも大切です。具体的には、他人の過去を調べて本人が忘れたことを暴いたり、つまらないエピソードを元に仲間をいじったり、ちょっとした個性を勝手に評価して妙な噂を立てたりなど、「嫌なことをしない」と教室の全員と約束してください。

与野南中学校も昨年度以上に「考え、創造すること」を大切にしながらチャレンジを続けます。授業や諸行事、部活動や校則等も含めて、学校のあらゆる教育活動について「考え、新たな潮流を「創造」することを意図しています。これまで当たり前だったことも、理由や根拠をもって再検討するようになりたいのです。よく言われる「学校は前例主義にとらわれた変化に乏しいところ」とは無縁の、新たな変化に対応しながら時代を生き抜く力がつく学校、「予定調和」や「同調圧力」を跳ね返しながら新たな文化を築く力がある学校、そして直接体験を通じて感動いっぱいとの与野南中学校を目標にしています。

人間関係には「好き」とか「不得意」とかいった感情的な側面が付きまといまます。摩擦が生まれる可能性は十分にありますが、個々人が自由に「考え、創造する」活動には、所属集団の安全と安心が欠かせない点も覚えておかなければなりません。指導にあたる教職員、そしてお家の皆さま、さらには地域の方からの大人としての矜持きょうじを示す声掛けが必要となることもあるでしょう。その際は積極的なコミュニケーション、特に会話を大事にしていくようにしたいと思います。順調なスタートとなるよう、各家庭におかれましても、よろしくお話しいただきますよう重ねて願いたします。

地域の皆様、本職も5年目を迎えます。

また1年間お世話になります。

今年度も応援よろしく願いたします。